

# 目 次

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて	1
1. 岸和田サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
㊦大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
IV. 令和7年度前期 岸和田サテライト開講授業	11
1. 大学院授業科目	11～12
2. 学部授業科目	13～14

# I. 和歌山大学岸和田サテライトについて

## 1. 岸和田サテライトの紹介

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした大阪府泉州地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホール(現南海浪切ホール)に岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象にした無料公開講座「ワダイノLIVE(旧わだい浪切サロン)」や講演会も実施しています。

### 【学部開放授業】フィールドワークや実習を取り入れた科目を開講



フィールドワークの様子



授業の様子

### 【大学院経済学研究科授業】現代社会・地域課題に沿ったテーマを開講



大学院授業の様子①



大学院授業の様子②

### 【ワダイノLIVE(旧わだい浪切サロン)】



無料公開講座

### 【講演会】



「岸和田サテライト友の会」講演会

## 2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があります。

令和7年度前期に岸和田サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

それに伴うパソコン・WEBカメラ・マイクの他、インターネット環境等は各自でご準備ください。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり (成績評価において合格した科目ごとに所定の単位が与えられます。)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間(1学期又は1年)毎に検定料と入学料及び授業料を徴収します。	聴講料 11,000円（1科目） ※現在、登録期間中の方は10,000円（1科目） ※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。 <u>ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。</u>
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。 ※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。	
そ の 他	サテライトの授業は、土曜日および平日夜間を中心に行います。 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトにも、科目等履修生として履修できる経済学研究科修士課程の授業科目があります。	

## ●大学院科目等履修制度とは

### 【概要】

- 大学院(経済学研究科)の授業を土曜日および平日夜間を中心に、原則南海浪切ホールで開講します。
- 入学資格は、大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として、大学院授業受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を修得できます。
- 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講できます。  
(詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください)
- 1学期毎に履修申請が必要です。

〈問い合わせ先〉

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

### 【修士課程(経済学研究科)への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について上記問い合わせ先までご照会ください。

#### ○既修得単位認定制度

本学大学院修士課程(経済学研究科)に入学した場合、本研究科開講の科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。

## ●学部開放授業受講制度とは

### 【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を原則土曜日に南海浪切ホールで開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば聴講申請できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講できます。

### 【受講可能期間】

- 2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。  
ただし登録期間の有効期限が2025年4月1日以降の学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

## II. 大学院科目等履修生の募集

### 1. 出願および履修願の手続き

#### ●募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、11～12ページをご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和7年度前期の授業は対面授業を行いますが、やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

※受講に際しては、PC等の受信端末やネット環境等を各自で準備してください。

※各自が持参したノートパソコンを用いる授業科目、履修条件がある授業科目があるので、出願前に問い合わせ先(P. 5 ● 出願先・問い合わせ先)まで照会してください。

※経済学研究科は改組に伴いプログラム制となっています。進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。(P. 5 ● 出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

#### ●募集人数

各科目とも、若干名

#### ●出願期間

令和7年2月20日(木)～2月27日(木)(必着)

#### ●出願方法

##### ○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者  
詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください。(P. 5 ● 出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※入学資格について不明な点のある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1カ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

##### ○検定料

5,000円

##### ○出願書類

「岸和田サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍謄本等それが分かる書類を添付してください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

ただし、卒業(修了)証明書の原本を過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)又は科目等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留料金の530円分の切手を貼ってください。

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送(期限必着)してください。持参する場合は9:00~17:00(ただし12:00~13:00を除く)に提出ください。その際、封筒の表に「岸和田サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、郵送の場合「特定記録」郵便で送付してください。

### ●選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、3月12日(水)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続き書類を同封します。

### ●入学手続き期間・手続き方法

令和7年3月13日(木)~3月14日(金)(必着)

手続き書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)または持参(9:00~17:00 ただし12:00~13:00を除く)してください。詳細は入学手続き書類に記載します。

### ●入学金・授業料

入学金 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続き書類に記載します。

※所定の期日までに納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続き後のキャンセルについては、入学手続き書類を確認してください)

### ●その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

### ●出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



令和 年 月 日

## 岸和田サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) \_\_\_\_\_

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

### 履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	ビジネス法	1
<input type="checkbox"/>	政策過程論	1

( : 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和7年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

# 履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3 × 4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 - )  TEL.( ) -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 - )  TEL.( ) - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	( 年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月~

# 令和7年度前期検定料の納入について（岸和田サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。  
(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

①  太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

### C 票 振込金受付証明書

令和7年度前期入学検定料  
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行 和歌山支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印
-----

(ご依頼人→大学)

### B 票 振込金領収書(本人保存)

令和7年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行和歌山支店			
受取人	普通預金	6820828		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印
-----

(取扱店→ご依頼人)

### A 票 振込依頼書

令和7年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	三井住友銀行 和歌山支店			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	2	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	6820828			
金額	5,000円			
電信扱	円			
手数料	円			
依頼人				
ご依頼人				

\* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

取納印
-----

(取扱店保存)

### Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

#### 1. 聴講申請の手続き

##### ●聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位認定はありません。)

##### ●募集科目および募集人数

「不登校・ひきこもりへの理解と支援：当事者に寄り添って」

(25名程度)：授業内容は13ページをご覧ください。

「AIで変わる世界 入門編」(20名程度)：授業内容は14ページをご覧ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※障がいをもつ志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問合せ先までご相談ください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

##### ●聴講申請方法

#### 1. 申請の仮登録

岸和田サテライトHPの下記のフォームより仮登録を行ってください。

仮登録フォームURL：<https://sites.google.com/view/wadaikishiwada/>

**登録期間：令和7年2月18日(火) 10:00～令和7年3月18日(火) 17:00まで**

※先着順となるため、募集人数を超えた場合は受講できませんのでご注意ください。

(QRコードを  
お使いください)



#### 2. 聴講料の納入

受講が可能になった方から、岸和田サテライトより申請書と振込方法(振込依頼書またはATM・ネットバンキングによる方法)を記載した書類をメールにて送付しますので聴講料をお振込みください。なお、振込後の返金はいたしかねます。

#### 3. 申請書類の提出

金融機関などで振込依頼書またはATM・ネットバンキングにより振込後、振込金受付証明書を貼付(ATM・ネットバンキングによる振込の場合は振込金額が分かる書面コピーを添付)のうえ学部開放授業聴講申請書を和歌山大学岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きして「特定記録」郵便で送付してください。

**提出期間：令和7年2月25日(火)～3月25日(火)(必着)**

※持参による申請書提出は、事前に岸和田サテライトまでご連絡ください。(受付時間9:00～17:00 日曜・月曜・祝日は休み。)

※3月25日(火)までに聴講料の納入と、申請書類の提出のいずれかを欠く場合には受講できませんのでご注意ください。特に郵送する場合は、郵送期間を考慮に入れて期限までに必着するようにお願いします。

#### 4. 参考

※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。

ただし登録期間の残期間がある学部開放受講者については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

聴講料とは授業料にかわるもので、

【新規申請者】：1科目※【11,000円】です。

【登録期間中聴講学生】：1科目※【10,000円】です。

→令和7年4月以降の登録者証(カード)の有効期限が残っている方

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

#### ●受講通知

申請期間の終了後、授業の案内を送付します。

#### ●フィールドワークについて

交通費など諸費用については、各自のご負担となります。

またフィールドワークに伴う保険料をご負担いただく場合があります。

#### ●問い合わせ先

仮登録後、7日以上過ぎても岸和田サテライトから電子メールが届かない場合は、下記の窓口までお問い合わせください。

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2F	072-433-0875(faxも同じです) kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 9:00~17:00 (日曜・月曜・祝日は休み)

## IV. 令和7年度前期 岸和田サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	ビジネス法 (Business Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	伊藤 政也		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月23日(水) 18:00～21:00	第3回：5月14日(水) 18:00～21:00	
	第2回：4月30日(水) 18:00～21:00	第4回：5月28日(水) 18:00～21:00	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b>            今年度は、ビジネスの中でも重要性の高い、製品やサービスの「価格」に焦点をあて、法学(反トラスト法、独占禁止法)の視点を中心とした分析・検討を行う。</p> <p><b>【授業計画】</b> 担当：和歌山大学経済学部准教授 伊藤 政也</p> <p>第1回：ガイダンス/反トラスト法の目的論/反トラスト法の目的論と規制            ・報告の要件などについて説明します。            ・反トラスト法の目的の概要を扱います。            ・反トラスト法の目的と規制の関係を扱います。</p> <p>第2回：価格カルテル            ・価格カルテル規制について扱います。            ・カルテル関連の事例を扱います。</p> <p>第3回：再販売価格維持            ・再販売価格維持規制を扱います。            ・再販売価格維持の事例を扱います。</p> <p>第4回：不当廉売            ・不当廉売規制について扱います。            ・不当廉売の事例を扱います。</p> <p><b>【到達目標】</b>            ・授業で扱う事例につき、現状の法的制度を踏まえて説明ができる。            ・法学あるいは他の隣接分野の知見を踏まえて、授業で扱う事例につきどうするべきかを多角的に説明できる。</p> <p><b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>            ・授業内での報告及び提出資料(50%)・課題レポート(50%)</p> <p><b>【教科書】</b>            ・講義は講師作成の資料を配布して行う。            ・その他必要な資料については、適宜Moodleにアップロードする。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b>            ・菅久他「独占禁止法〔第5版〕」(商事法務、2024)</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>            ・この授業は岸和田サテライトで開講します。オンラインもしくは現地で受講してください。            ・履修人数によって、授業計画が変更になる可能性があります。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b>            この授業は法学だけでなく、ミクロ経済学(初歩)等の知識も必要になります。テーマに関連する様々な分野について、広く関心を持ってもらえればと思います。</p> <p><b>【履修を推奨する関連科目】</b>            民法、ミクロ経済学・産業組織論関連科目、マーケティング関連科目</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>            受講者数によるが、各テーマごとに報告者による報告を予定している。報告者は、報告のための事前準備と資料作成が必要になる。報告者以外の受講生は、議論に参加ができるよう事前の予習が必要になる。</p> <p><b>【授業理解を深める方法】</b>            経済学やマーケティング等で扱ったテーマが、実際の法制度の中でどのように理解されているか、独占禁止法のテキストや事例集等と対比しながら検討してみましょう。</p> <p><b>【オフィスアワー】</b>            msyitoh(@)wakayama-u.ac.jp宛に連絡頂き、適宜調整の上実施します。</p> <p><b>【その他連絡事項】</b>            連絡事項・配布資料は、基本的にMoodleを通じて行います。</p>			

授業科目名 (英語表記)	政策過程論 (Policy Process)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤木 剛康		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月26日(土) 14:00～17:00	第3回：5月17日(土) 14:00～17:00	
	第2回：5月10日(土) 14:00～17:00	第4回：5月31日(土) 14:00～17:00	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b> この授業では、政策過程論の基本的なフレームワークを学んだうえで、参加院生が関心を持つ事例を選び、それらのフレームワークを用いて事例を分析し、どのようなプロセスを経て実際の政策が決まっているのか理解を深めることをめざす。関心のある事例について詳細に理解するだけでなく、むしろ、課題に対していかなる解決策が提起され、それら解決策や関係者の間にどのような政策対立が存在し、結果として「解決」に至ったのかを分析する。</p> <p><b>【授業計画】</b> 担当：和歌山大学経済学部准教授 藤木 剛康</p> <p>第1回：オリエンテーション/政策決定の理論 ・講義の趣旨と授業計画、政策過程論の概要を説明します。また、各自の関心のある政策問題について説明してもらいます。 ・教科書の序章と1章を検討し、各自の関心のある政策問題にどのように対応できるのか議論します。</p> <p>第2回：政策形成と政策課題/政策実施と政策評価 ・教科書の2章と3章を検討し、各自の関心のある政策問題にどのように対応できるのか議論します。 ・教科書の4章と5章を検討し、各自の関心のある政策問題にどのように対応できるのか議論します。</p> <p>第3回：新制度論とつながりの政策学/政策ネットワークと民主主義 ・教科書の6章と7章を検討し、各自の関心のある政策問題にどのように対応できるのか議論します。 ・教科書の8～10章を検討し、各自の関心のある政策問題にどのように適用できるのかを議論します。</p> <p>第4回：政策プレゼン ・政策過程論で学んだ枠組みを用いて、各自の関心のある政策についてプレゼンをしてもらいます。</p> <p><b>【到達目標】</b> 教科書で学んだ政策過程論の分析枠組みを用いて、特定の政策を初歩的なレベルで分析できるようになること。</p> <p><b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b> 毎回の提出課題(60%)と政策プレゼン(40%)で評価する。</p> <p><b>【教科書】</b> 風間規男「つながりの政策学——政策過程の全体図を描く」(日本経済評論社)</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b> 秋吉貴雄他「公共政策学の基礎 第3版」(有斐閣)</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b> ・政策問題に関心のある院生が対象ですが、「正しい・理想的な」政策を提案することをめざすアプローチではありません。 ・各自で関心があり、最終レポートのテーマにできる政策問題を最低一つ、考えておいてください。 ・この授業は岸和田サテライトで開講します。オンラインもしくは現地で受講してください。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b> 特になし</p> <p><b>【履修を推奨する関連科目】</b> 特になし</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b> ・授業計画に沿って、各回の予習と復習を行ってください。 ・最初の2回の授業では、教科書の序章と1章を検討します。各自で教科書を入手してノートをとって予習をし、テキストの内容が各自で選んだ政策問題にどのように適用できるのか考えておいてください。</p> <p><b>【授業理解を深める方法】</b> 授業中に示すテーマについて、グループワークで議論し、結果を発表する。</p> <p><b>【オフィスアワー】</b> 金曜4限。予めメールで連絡を取ること。</p>			

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	不登校・ひきこもりへの理解と支援：当事者に寄り添って (Understanding and Supporting for School Refusal and Hikikomori)		
単位数	2(学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	山崎 由可里、船越 勝、則定 百合子、森 麻友子、竹澤 大史、北岡 大輔		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：4月12日(土) 13:00～17:00	第4回：5月17日(土) 13:00～17:00	
	第2回：4月19日(土) 13:00～17:00	第5回：5月24日(土) 13:00～17:00	
	第3回：5月10日(土) 13:00～17:00	第6回：5月31日(土) 13:00～17:00	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b>          小・中学校の不登校児童生徒数は、2022年度に全国で約30万人、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は31.7人に達し、10年連続で増加し、過去最多を更新した。それにともない、保護者や教師を中心に、その適切な対応の仕方について思い悩む人の数も大きく増加している。加えて、8050問題など、成人期以降の引きこもりなどについても社会問題化している。この授業では、小学生から成人までの不登校や引きこもりに対する理解を深めるとともに、当事者(不登校、引きこもり経験者)、教員、サポートする市民、行政などの関係者の生の声や取り組みに触れることを通して、当事者への理解を深め、支援の受け方や仕方について、学び、実践し、支援を必要とする方々への支援につながる力を身につけることを目的としている。</p> <p><b>【授業計画】</b>  <b>第1回 オリエンテーション・不登校・ひきこもりの現在</b>          当事者(不登校・引きこもり経験者)の実体験を伺います。その後、当事者の方に加え、長年、第一線で取り組んできた専門家と実践家によるパネルディスカッション形式で現状や課題を明らかにします。          和歌山大学教育学部 山崎 由可里教授、和歌山大学教育学部 船越 勝教授          ゲストスピーカー：和歌山大学 堀内 秀雄元副学長 秋桜高等学校 浦田 直樹校長          社会福祉法人一麦会 麦の郷 利用者</p> <p><b>第2回 先生の支援のあり方、学校と家庭のかかわり方を考える</b>          教員は、クラスの中で、不登校の子どもとどのように関わればよいのか、不登校児のいるクラスをどのように学級経営していくのが良いのか、そしてまわりの教員はどのように支援をしていくのが良いのかを考えます。また、不登校の子どもの親と学校は、どのように関わっていくのが良いかについても考えます。          和歌山大学教育学部 船越 勝教授          ゲストスピーカー：京都市立嵯峨小学校 岩本 訓典教諭</p> <p><b>第3回 不登校・ひきこもりに至る心理的プロセスと背景</b>          子どもがなぜ、学校に行きたがらなくなったり、ひきこもったりするのかを、臨床心理学の側面からひも解きます。          和歌山大学教育学部 則定 百合子准教授          ゲストスピーカー：特定非営利法人ココまな 土居 倅実代表</p> <p><b>第4回 大学生のひきこもりの原因とその対処について</b>          大学生の不登校・ひきこもりの実態について理解を深めるとともに、実践的な対応方法や支援策を学びます。また、その原因や背景を多角的に考察し、学生支援における課題解決力を養います。          和歌山大学 キャンパスライフ・健康支援センター 副センター長 森 麻友子准教授          ゲストスピーカー：公認心理士 上安 涼子氏</p> <p><b>第5回 発達障害のある方の家族への相談支援、心理的な支援について</b>          発達障害のある方の家族への相談支援、心理的な支援について、施策から具体的な取り組みについて考えます。          和歌山大学教職大学院 竹澤 大史准教授          ゲストスピーカー：ペアレントメンターとして活動されている方</p> <p><b>第6回 不登校等二次障害を呈する子どもへの教育的支援・講義のまとめ</b>          発達障害を背景とした不登校等二次障害について、事例を交えながら教育的支援の在り方を考えます。また、授業の後半では、これまでの講義を振り返り、まとめます。          和歌山大学教育学部 山崎 由可里教授、和歌山大学教育学部 北岡 大輔講師          ゲストスピーカー：和歌山県立紀伊コスモス支援学校 西田 涼教諭</p>			
<p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題としての不登校やひきこもりの背景と現状について、説明することができる。</li> <li>・ケースに合わせて、不登校やひきこもりの当事者に対する理解・支援を具体例とともに提案することができる。</li> </ul>			
<p><b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>          授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方などを含めた総合評価を行う。</p>			
<p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>          授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、情報収集、理解に努めてください。</p>			
<p><b>【履修する上で必要な事項】</b>          配当された授業を受講し、積極的に参加すること。</p>			
<p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>          事前・事後学習については、その都度連絡する。</p>			



授業科目名 (英語表記)	AIで変わる世界 入門編 * PC必須です。 (Introduction to the Transformative World of AI)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	伊原 彰紀、風間 一洋、八谷 大岳、陳 金輝、西村 竜一		
開 講	岸和田サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：6月21日(土) 13:00～17:00	第4回：7月19日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月5日(土) 13:00～17:00	第5回：7月26日(土) 13:00～17:00	
	第3回：7月12日(土) 13:00～17:00	第6回：8月9日(土) 13:00～17:00	

**【授業の概要・ねらい】**

近年、AI技術は急速に進化し、ビジネスや日常生活のさまざまな場面で活用されるようになってきています。例えば、AIが会話をサポートしたり、画像や動画を解析することで、医療や教育、エンターテインメント分野にも大きな変化が生まれたりしています。その一方で、AIの仕組みや技術の活用方法を理解している人材はまだ限られており、AIを正しく使いこなすための知識・技能が求められています。本講座では、AIがどのように動くのか、その基本的な仕組みと社会への影響について、PCを用いて実践的に学びます。Pythonなどのプログラミング言語を使い、AIが文章を生成する大規模言語モデル、画像を認識する技術、さらには新しいデータを生成する技術などについて、理論と実践を通じてわかりやすく学習します。さらに、AI技術を使う上で重要な倫理や法律にも触れ、技術の正しい活用方法と責任について考えます。最終回では、これまで学んだ知識を基に、グループワークを通して将来どんなAIが実現できるかを考えます。

**【授業計画】**

第1回：イントロダクション：AIとは何か

AIの基本概念を紹介し、実際にプログラミング言語を使いながらAIの仕組みを学びます。AIがどのように動作するかを理解するための基礎を固め、簡単なプログラムでAIの動きを体験します。

和歌山大学 システム工学部 社会情報学メジャー 伊原 彰紀准教授

第2回：AIと画像(理論と演習)

近年活躍しているAIは、大規模なデータと、線形代数、確率統計、微積分、最適化などの数学を駆使したアルゴリズムにより実現されています。この回では、予測や分類を行う簡単なAIを数学的に構築し、物件価格予測や手書き数字画像分類への応用演習を通じて、AIの振る舞いを計算結果として説明できるように理解を深めます。

和歌山大学 システム工学部 知能情報学メジャー 八谷 大岳准教授

第3回：AIの言葉の力：大規模言語モデルとプロンプトの世界

コンピュータが人間の言葉を理解・処理・生成する技術である自然言語処理(NLP)に関して、特に大規模言語モデル(LLM)に注目して、歴史や仕組み、制約、問題について学び、実際にプロンプトを使ってNLPタスクの実行を体験します。

和歌山大学 システム工学部 ネットワーク情報学メジャー 風間 一洋教授

第4回：AIと画像生成(実践)

生成AIに関わる基礎知識、ディープラーニングモデル、処理方式を学びます。さらに、演習ではそれらの実世界における様々な応用に関する画像生成AIモデルを体験します。

和歌山大学 システム工学部 社会情報学メジャー 陳 金輝准教授

第5回：AIと音声

本格的な普及が始まった音声対話型AIを構成する基盤技術である音声認識や音声合成などについて説明します。

また、私たちの日常にあふれている「音」を活用したAI技術の応用を考察します。

和歌山大学 教育機構 データ・インテリジェンス教育研究部門 西村 竜一講師

第6回：AIについて発表してみよう

第1回から第5回で学んだ内容を応用し、AI技術がどのように社会を変えるかを考える力を養います。参加者はグループワークを通して、将来実現可能なAIについて議論し、アイデアをまとめて発表します。

和歌山大学 システム工学部 社会情報学メジャー 伊原 彰紀准教授

**【到達目標】**

- ・ AIとは何か、さまざまな分野の知見を活かして説明することができる。
- ・ AIに関する学習内容とその応用について、グループでまとめて発表することができる。
- ・ AIの社会への影響と倫理的な問題について課題を挙げ、説明することができる。

**【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】**

授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方などを含めた総合評価を行う。

**【履修上の注意・メッセージ】**

- ・ PCを用いて実践的に学習する講座です。タブレットではないPCを持参してください。
- ・ 一部の講義が、府立岸和田高校(岸和田市岸城町10-1)で実施されることがあります。また、講義の順番が入れ替わることがあります。Moodleや授業内での案内に、十分注意してください。
- ・ 2回目以降は、PC環境の設定が済んでいるものとして授業が進みます。できるだけ欠席のないようにしてください。

**【履修する上で必要な事項】**

プログラミングを行う環境としてGoogle Collaboratoryを使用するため、Googleアカウントが必要です。既存のアカウントを使用する方はPCでログインができる準備をお願いします。アカウントをお持ちでない方や新規作成を希望する方には、授業前にTAがサポート予定です。詳細は後日案内します。



## 〈気象警報発表時・交通機関運休時等の授業取扱について〉

岸和田市に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」のいずれかが発表若しくは「南海本線」「JR阪和線」の両線が運休等した場合は、その期間中の授業は休止となります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

## 〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」  
(和歌山大学HP)

